

2025年8月29日

*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

*本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

新型 Audi Q3：多様性、スポーティそしてデジタルコネクテッド

- バランスのとれたダイナミックで筋肉質のプロポーションと広々としたインテリア
- 効率性、ドライビングダイナミクス、快適性：新しいダンパーシステム、力強いプラグインハイブリッドテクノロジー、そして効率的な内燃エンジン
- 日常のデジタルパートナー：フルサイズクラス由来の運転支援およびライティングテクノロジーに加えて、さらに快適性を高める革新的な操作コンセプト

(ドイツ本国発表資料) 2025年8月25日、インゴルシュタット：Audi Q3 は、プレミアムコンパクトセグメントにおいて、10年以上にわたり確立されたベストセラーであり続けています。現在、第3世代が、いくつかの点で新たな基準を打ち立てています。このモダンなエクステリアは、SUV およびスポーツバックどちらにも自信とエモーションが感じられます。数多くの革新的な機能によって、Audi Q3 はデジタルパートナーといえる存在になります。ファーストクラスのユーザーエクスペリエンスを提供すると同時に、多くのアシスタンスシステムにより、ドライバーおよび他の道路利用者にとって、より大きな快適性と安全性を確保します。バランスの取れたサスペンションに加えて、ライトのデジタル化も、顧客にとっての利点を高めます。デジタルマトリックス LED ヘッドライトの新しいマイクロ LED テクノロジーが、高度なパーソナライゼーションとアダプティブで高解像度なライトファンクションを可能にします。新しい Audi Q3 のもう一つの特徴は、マイルドハイブリッドテクノロジーを備えた、効率的で部分的に電動化された内燃エンジンと、最大 119km (参考値) の電動航続距離を持つプラグインハイブリッドモデルであるということです。

AUDI AG CEO ゲルノート デルナー (Gernot Döllner) は、「Audi Q3 は、初代モデルの発売以来、全世界で累計 200 万台以上販売された、アウディで最も売れているモデルのひとつで、製品ポートフォリオの中でも高い地位を占めています。Audi Q3 の第3世代の登場で、この重要なモデルファミリーはアウディのプロダクト・イニシアティブの一環として刷新され、また、力強いプラグインハイブリッドおよび効率的な内燃エンジンを導入して、アウディのラインアップを強化します。この新型モデルは、効率性、ドライビングダイナミクス、快適性を兼ね備えています」と述べています。効率的で部分的に電動化された内燃エンジンに加えて、Audi Q3 は、快適性とダイナミクスのバランスを可能にする新しいアダプティブサスペンションを提供します。AUDI AG 技術開発担当取締役 ジェフリー ブーコ (Geoffrey Bouquot) は、「コンパクトセグメントの Audi Q3 のインテリアには、フルサイズクラスのデジタルステージを採用しています。革新的な操作コンセプトと多数のアシスタンスシステムが、安全性と快適性を高め、Audi Q3 を日常における理想的なデジタルパートナーにしています」と加えています。

新型 Audi Q3 は、先代モデルと比較して、さらにエモーショナルなデザインを備えています。幅広いシングルフレームとシャープに絞り込まれたヘッドライトは、空力コンセプトに完全に統合されています。

サイドから見ると、ヘッドライトとリヤライトの間にある水平のショルダーラインが、車両を視覚的に2つの部分に分けており、特別な光の効果を生み出しています。

乗り降りのしやすさ、優れた視界、実用的なインテリアレイアウトといった、伝統的な SUV のメリットに加えて、第2世代の Audi Q3 Sportback は、SUV の強みとクーペの美しさを融合しています。Aピラーから後方に向かって下がるルーフラインは、SUV モデルよりも 29mm 低く、これにより Audi Q3 Sportback は、さらにスポーティな外観とより速さを感じさせるシルエットを実現しています。

リヤは、オプションのデジタル OLED リヤライトで飾られ、連続した LED ライトストリップとイルミネーション付きリングが組み合わされています。このレベルのライティングテクノロジーは、Audi のコンパクトセグメントでは初めて提供されます。

Audi Q3 のフロントには、デジタルマトリックス LED ヘッドライトが搭載されており、このモデルで初めてマイクロ LED モジュールが使用されています。このマイクロ LED 技術の採用により、照射性能が大きく向上し、路上での強いコントラストが確保されます。ライトガイダンス機能とドライバーアシスタンス機能との運動性はこれまで以上に密接になりました。LED 技術を用いたデジタルデイトタイムランニングライトは、片側につき 23 個のセグメントで構成されており、車両に個性的なライトシグネチャーを生み出し、道路上でひと目で認識できます。

インテリアにおいては、新しいステアリングホイールコントロールユニットにより、センターコンソールにおいてより多くの収納スペースを確保し、新しいユーザーエクスペリエンスとより優れた空間感覚を創りだしています。このステアリングホイールコントロールユニットは、2 つの新しいステアリングコラムレバーを初めて統合しました。右側のレバーはシフトセクターとして、左側のレバーはライト機能およびワイパー操作のコントロールエレメントとして機能します。さらに Audi のコンパクトセグメントにおいて初めて、室内音響に優れ特に高速走行の際に顕著に感じられるアコースティックガラスをフロントサイドウィンドウにオプションで装備可能です。トランク容量は 488 リッターで、Audi Q3 の実用性の高さを表しています。シートベンチを折りたたむと、Audi Q3 の収納スペースは最大 1,386 リッターに増加します（Audi Q3 Sportback は最大 1,289 リットル）。シートベンチは前後にスライド可能で、角度調整も可能です。この Audi Q3 の最大牽引重力は 2,100kg です。

Audi Q3 ファミリーのエントリーモデルは、最高出力 110 kW を発揮する 1.5 TFSI で、マイルドハイブリッドテクノロジーを搭載した 4 気筒ガソリンエンジンです。2.0 TDI エンジンと最高出力 110 kW を備えた Audi Q3 は、特に長距離走行に適しています。プラグインハイブリッドモデルの Audi Q3 SUV e-hybrid および Audi Q3 Sportback e-hybrid は、システム総出力 200 kW を発揮し、理想的な条件下で最大 50 kW での DC 充電が可能で、これまでになく高性能かつ高効率です。これは、搭載されている総容量 25.7 kWh（正味容量 19.7 kWh）の高電圧バッテリーによるもので、Audi Q3 SUV e-hybrid の WLTP テストサイクルにおける電動航続距離は最大 119km（参考値）で、Audi Q3 Sportback e-hybrid は最大 118 km（同上）です。

さらに改良された標準サスペンションは、より優れたドライビングエクスペリエンスを提供します。スポーツサスペンションおよび 2 バルブダンパーコントロール付きサスペンションがオプションで用意され、バランスの良いドライビングエクスペリエンスを実現します。運転支援のハイライトのひとつは、アダプティブドライビングアシスタンスプラスです。より高い道路上の安全のために、室内カメラがドライバーの眠気や集中力の欠如の気配をモニターします。学習型パーキングアシストによって、個別の駐車操作を覚え、新しい reverse assist は、袋小路からの後退を確実に支援します。

新型 Audi Q3 は 10 月に発売予定で、すでにオーダーが可能です。Audi Q3 Sportback TFSI 110 kW は 11 月に発売予定です。

新型 Audi Q3 に関する詳細情報は、以下をご覧ください。

ダイナミックなデザイン

先代と比べて、新型 Audi Q3 はさらに筋肉質でエモーショナルなデザインとなっています。そのボディは、丸みを帯びたセクションと正確なラインの完璧な組み合わせによって形作られています。幅の広いシングルフレームは高い位置に配置され、細く絞られたヘッドライトは精悍な表情を生み出し、車両の空力コンセプトに完全に統合されています。このデザインは、フロントエンド周辺での空気の流れを大きく向上させます。シングルフレームの下部には調整可能な冷却空気取り入れ口があり、空気のロスを最小限にとどめて流すことができます。パーキングセンサーもこの位置に配置されています。運転支援システムのセンサーは、フォーリングスの裏側に設置されています。

サイドから見ると、フロントとリアのライトの間にある水平のショルダーラインが、車両を視覚的に上下 2 つの部分に分け、特別な光の効果を生み出します。上部は光を捉え、下部は影に沈みます。大きな傾斜が付いた D ピラーと組み合わせることで、グリーンハウスはさらにダイナミックに見えます。フロントおよびリアのホイールのショルダー部分から力強く浮かび上がるプリスターは、初代 quattro を想起させます。

リヤもまたクリアなデザインを特徴とします。2分割されたリヤライトと分離されて、正確に描かれた細いライトストリップが車両の全幅をシャープに横切り、リヤにクリーンな印象を与えます。その下には、穏やかな広い面が広がります。ディフューザーは、位置の高いバンパーに統合されています。

Audi Q3 Sportback : 2つの世界の長所を融合

第2世代のAudi Q3 Sportbackは、クーペの美しさと、乗り降りのしやすさ、優れた視認性、実用的なインテリアレイアウトといったSUVが持つ利点と実用性を兼ね備えています。Aピラーから後方に向かって下がるルーフラインはSUVより29mm低く、Audi Q3 Sportbackにさらにスポーティな外観と、より速さを感じさせるシルエットを与えています。リヤのボディボリュームを減らすことで、四輪駆動を象徴するふたつの力強い筋肉のような quattro プリスターが、より幅広く力感あふれる印象となっています。力強くシンプルなグリーンハウスは、クーペ形状になったことでより先進的でエモーショナルなデザインとなっています。

オプションとして、セレナイトシルバーのトリムと差別化されたフロントおよびリヤバンパーを備えたS lineが用意されています。ブラックトリムのブラック仕様もエクステリアパッケージとして選択できます。新しいAudi Q3モデルのカラーは、全11色から選べ、その中にはアルコナホワイトのソリッドペイント仕上げも含まれます。グレイシアホワイト、ミツブラック、アローグレー、タンボラグレー、プログレッシブレッドおよびナバラブルーは、メタリックペイント仕上げとして選択可能です。さらに新色のセージグリーンおよびマデイラブラウンが加わります。マデイラブラウンのマットペイント仕上げは、新しいAudi Q3の専用色です。S lineでは、デイトナグレーのメタリックペイント仕上げも選択可能です。タンボラグレーはadvanced lineのみに提供されます。

新しいホイールデザインは、標準で17インチから最大で20インチまで用意されています。タイヤ幅は215mmから235mmへと拡大されています。18インチから19インチのエアロホイールもラインアップに含まれます。Audi Sportでは、19インチおよび20インチサイズで合計5種類のホイールデザインを用意します。これにはブラックメタリックのダーク仕様が2種類含まれ、5アームトライポッドデザインの20インチホイールと、マルチスポークSデザインの20インチホイールです。Audi Q3 Sportbackの標準ホイールは18インチです。

空力性能と車両全体の静粛性は、先代モデルと比べて大幅に改善されています。空気抵抗係数(Cd値)0.30で、音響快適性にも重点が置かれています。2枚のガラスの間に挟んだPVB-Aフィルムとの組み合わせにより、調和のとれた音響コンセプトが実現され、走行快適性が明確に向上しました。

フルサイズクラスのライティングテクノロジーにより夜でも昼間の明るさに

新型Audi Q3のライティングテクノロジーは、アウディのコンパクトセグメントにおいて初めて採用された、フルサイズクラスのデジタルマトリクスLEDヘッドライトを活用しています。新型Audi Q3は、従来のDMD(Digital Micromirror Device)モジュールに代わり、マイクロLEDモジュールが初めて採用されています。約13mmのモジュール上には25,600個のマイクロLEDが備わっています。各マイクロLEDはおよそ40マイクロメートルの大きさで、これは人間の髪の毛のおよそ半分の太さです。このマイクロLEDテクノロジーを使用することで、照射性能が大幅に向上しました。その結果、路面上で非常にクリアなコントラストが得られ、気象条件が厳しい場合に特に便利です。

レーンガイダンスおよびオリエンテーションライトとして知られているライトガイダンス機能は、運転支援機能とより緊密に連動します。アシスタンスシステムからの重要な情報を、車両前方のドライバーの直接の視界内と道路上に表示を映し出すことで、走行安全性がさらに高まります。

新しい機能の一つは、Audi Q3のドライバーが高速道路で車線変更をする際に、死角に車両がある場合、車線変更アシストからのアクティブワーニングが、レーンライトに表示される機能です。また、オリエンテーションライトにおけるレーンデパーチャーワーニング表示は、郊外道路や高速道路においてもドライバーをサポートします。この機能は、レーン境界線を越えてしまった際に、メーターパネルにこれまでと同様に表示されます。さらに交通情報の延長として、路面凍結の可能性がある場合、約70km/h以上の速度で、氷の結晶のワーニングシンボルを路面に投影します。

高度なライトガイダンスはまた、ドライバーの視認性が悪くなることが多い工事中の道路で役立ちます。デジタルマトリクス LED ヘッドライトがライトガイダンスを自動的に調整し、レーンライトをオフにしてオリエンテーションライトを優先するため、狭い工事中の道路でも正しいレーンに留まって進めます。

また、今回初めて、例えばレーンライトなどのデジタルマトリクス LED ヘッドライトの個別機能を、MMI からお客様自身でオフにすることが可能になりました。MMI ではまた、ダイナミックなカミングホーム／リービングホーム機能の拡張機能として、車両に乗り込む際やエンジンを停止する際のサインを、3 種類の異なるデザインから選択することも可能です。そのため、デジタルマトリクス LED テクノロジーは、車両が停止している時にも存在感を放ちます。マイクロ LED の光源と組み合わせることで、デジタルマトリクス LED ヘッドライトは、ハイビームの非常に精密な光分布と、他の道路利用者に対するさらに優れた防眩制御を実現し、道路の安全性を高めます。

デジタルマトリクス LED モジュールに加えて、片側 23 個ずつのセグメントで構成される LED テクノロジーを採用するデジタルデイトムランニングライトが、道路上で車両の視認性を高めます。車両の装備内容に応じて、最大 4 種類までのデジタルライトシグネチャーを、お好きなカミング／リービングホームライティングのシナリオにあわせてフロントおよびリヤに映し出すことができます。リヤにはオプションのデジタル OLED リヤライトが備えられ、連続した LED ライトストリップによって引き立てられています。合計 36 個の異なるセグメントが 6 つのデジタル OLED パネルに分けられており、これによってデジタルリヤライトシグネチャーが可能になっています。リヤのイルミネーションリングは特に目を引く特徴で、ロービームが点灯されるとともに輝きを放ちます。

インテリア：機能的で明確にデザイン

新型 Audi Q3 は、先代モデルと比較して、デザインと機能性が大幅に向上しています。前景または背景に意図的に配置された視覚的なコントラストが際立つデザインは、居心地のよいインテリアを生み出しています。

ソフトラップと呼ばれる一体感のある装飾パネルが、ドアからダッシュボード全体の幅にわたって広がっており、最大限のスペース感覚を引き出すために、水平基調を強調しています。11.9 インチのインストルメントクラスターと、12.8 インチの MMI タッチディスプレイによるパノラミックディスプレイが、いわゆるデジタルステージを構成しています。そのカーブしたデザインにより、ドライバー志向のコックピットレイアウトが生まれます。アウディはこれにより、フルサイズクラスのデジタルステージをコンパクトセグメントに導入したことになります。重要な情報を補完するヘッドアップディスプレイも、デジタルディスプレイに加えられています。フラットなドアハンドルとモダンですっきりとしたセンターコンソールが、空間と快適性を強調します。

新しいステアリングホイールコントロールユニットは、実用面で大きなメリットをもたらします。2 本の新しいステアリングコラムレバーを初めて統合することで、センターコンソールの収納スペースを拡大し、新たなユーザーエクスペリエンスと、より優れた空間効率を実現しています。右側のレバーはシフトセレクターとして、左側のレバーはライト機能およびワイパー操作用のコントロールエレメントとして機能します。センターコンソールからシフトセレクターがなくなったことにより、2 つのカップホルダーを備えたコンソールにさらにスペースが生まれました。15W の充電出力を持つ冷却機能付きの非接触充電トレイには、2 つの USB-C ポートが備わり、必要に応じてスライドカバーで覆うことができます。リヤにはさらに 2 つの USB-C ポートが装備されています。

暗い場所では、さまざまなライティングパッケージ（アンビエントライトパッケージプラス／プロ）がインテリアの雰囲気を実際立たせます。ダッシュボードとセンターコンソールに設けられたマーカーライトが、インテリアの明確なラインを強調します。MMI パノラミックディスプレイの下部およびドア内の間接アンビエントライティングが、インテリアデザインを引き立てます。

新しいデザインエレメントとして、フロントドアには、広範にわたるイルミネーションが初めてオプションとして用意されました。このために、ファブリックパネルには 300 回のレーザーカットが施されています。ドアトリム内の光源が、異なるサイズの 5 つのセグメントを背面から照らし、車両のロックお

よびアンロック時などに、ダイナミックな光の流れを生み出します。このイルミネーション付きファブリックパネルは、機能性とエモーショナルなデザインエクスペリエンスを融合させています。MMIで30色のカラーバリエーションから選択可能で、パーソナライゼーションの可能性が広がります。

新たにオプションとして設定された SONOS プレミアムサウンドシステムのスピーカーは、ドア上部に配置されており、バーチャルに生成された新しいサラウンドサウンドにより、臨場感あるリスニングエクスペリエンスを提供します。センタースピーカーおよびサブウーファーを含む12基の高性能スピーカーは、最大出力420Wのアンプによって駆動され、4つのプリセットされたサウンドプロファイル（ナチュラル、コンサート、ラウンジ、ポッドキャスト）から選ぶことができます。さらに、ファンクションオンデマンド（FoD）を通じて、いつでもサウンドエクスペリエンスを拡張する機能を追加することも可能です。

サウンド&ファンクションパッケージでは、3つの追加機能によってサウンドシステムを強化します。1) 低音の強化：より正確で強力な低音体験、2) 自動レベル調整：音源を変更しても同じ音量を維持、3) 音質補正機能：圧縮された音楽ファイルのサウンド改善

Audi Q3のインフォテインメントシステムは、Android Automotive OSをオペレーティングシステムとして採用しています。YouTubeなどのサードパーティ製アプリは、MMIに直接統合されたオーディオアプリケーションストアで入手することができ、スマートフォンを使わずに利用できます。

学習型の音声アシスタントである Audi アシスタントは、多数の車両機能を操作するために使用できます。このアシスタントはAIで強化されており、車両に直接統合されています。初めて、MMIの中央タッチディスプレイにアバターとして表示され、アクティブ時にはヘッドアップディスプレイやオーディオバーチャルコックピットにもアイコンとして現れます。オーディオアシスタントが理解した入力は、インストゥルメントディスプレイにも表示されます。

合計で9種類のインテリアパッケージが用意されています。インテリアはユーザー中心に設計されているだけでなく、サステナビリティも考慮され、成長が早く耐久性のある木材が使用されています。Impressum（インプレスム）クロスのインテリア要素は、完全にリサイクルされたポリエステルで作られています。同様に、Passage（パッセージ）、Impressum、単色クロス、そしてマイクロファイバーの張地も再生ポリエステルから作られています。ベルベット調ベロアのフロアマットは、古い漁網やカーペットの切れ端、産業廃棄物から完全にリサイクルされたナイロン繊維 Econyl（エコニール）で作られています。オーディオはこのように、Audi Q3において将来志向で効率的な資源利用に注力しています。

488リッターのトランク容量は、Audi Q3の実用性の高さを表しています。シートベンチを前方いっぱいまでスライドさせアップライトに設定した場合、トランク容量は575リッターに増加します。シートベンチを折りたたむと、収納スペースはAudi Q3では最大1,386リッター、Audi Q3 Sportbackは最大1,289リッターまで増加します。シートベンチは前後方向に移動可能で、角度も調整できます。Audi Q3の最大牽引重量は2,100kgで、けん引車のヒッチ（トウバー）部分の最大垂直荷重は90kgです。

高効率エンジンの幅広いラインアップ

Audi Q3ファミリーのエントリーモデルは、マイルドハイブリッドテクノロジーを搭載した4気筒ガソリンエンジンと7速S tronicが標準装備の1.5リッター TFSI 110 kWで、出力は110 kW（150 PS）です。さらに、1.5 TFSIにはシリンダーオンデマンド（COD）システムが搭載され燃費を改善します。このシステムは、低・中負荷時に、第2および第3シリンダーを一時的に休止させます。

2.0 TFSIは150 kW（204 PS）の出力と320 Nmのトルクを発生します。これは quattro 四輪駆動を備えた4気筒ガソリンエンジンです。

最もパワフルな内燃エンジンも2.0 TFSIで、195 kW（265 PS）出力と400 Nmのトルクを発揮し、 quattro 四輪駆動を備えています。Audi Q3のディーゼル仕様は110 kW（150 PS）と360 Nmのトルクを発揮して、特に長距離走行に適しています。このモデルは、前輪駆動と7速S トロニックを標準装備して生産ラインから出荷されます。

プラグインハイブリッド (PHEV) は、電動駆動によってディーゼル仕様と同様に長距離走行に適しており、これまで以上にパワフルで効率的です。Audi Q3 e-hybrid は、130 kW (177 PS) の 1.5 TFSI エンジンと電気モーターの組み合わせにより、システム総出力 200 kW (272 PS) およびシステムトルク 400 Nm を発揮します。

搭載する高電圧バッテリーは総電力容量 25.7 kWh で、外形寸法は先代モデルとほぼ同じながら、その容量はほぼ 2 倍になっています。正味容量は 19.7 kWh です。バッテリーは 96 個の角形セルで構成され、4 つのモジュールに分割されており、従来よりも多くのエネルギーを蓄えることができます。セル化学の最適化とパッケージの改善により、各モジュールの充電容量は従来の 37 Ah から 73 Ah へと向上しました。

これにより、WLTP テストサイクルでの Audi Q3 SUV e-hybrid の電動航続距離は最大 119 km (欧州参考値) で、Audi Q3 Sportback e-hybrid 200 kW の電動航続距離は、最大 118 km (欧州参考値) に達しました。Audi Q3 e-hybrid 200 kW は、理想的な条件下で最大 50 kW の DC 充電に対応し、電動走行による快適な移動を可能にします。バッテリーを 10 % から 80 % まで充電するのにかかる時間は 30 分未満です。Audi 独自の充電サービスである Audi charging により、リクエストに応じてヨーロッパ 28 カ国における多数の充電ポイントへのアクセスが可能です。

新しいダンパーシステムによる快適性とパワーの両立

エンジンの改良に加えて、アウディは新型 Audi Q3 のドライビングダイナミクスも大幅に改善しました。さらに新開発の標準サスペンションは、より優れたドライビングエクスペリエンスを提供します。全体的にダイナミックにデザインされた Audi Q3 は、ファミリーカーとして旅行や日常使いに適していて、俊敏性も印象的です。サスペンションには、スチールスプリングサスペンション、スポーツサスペンション、そして 2 バルブダンパーコントロール付きサスペンションが用意されています。

ダンパーコントロール付きサスペンションは、路面の状態およびその時の走行状況に合わせて連続的に反応します。その際、ステアリング、ブレーキング、アクセルなどのパラメーターを考慮します。各ホイールの理想的な減衰力がコンマ数秒で計算され、ショックアブソーバーにより調整されます。より速く反応する 2 バルブダンパーでは、ボディとサスペンションの接続はよりスムーズかつ高精度になります。同時に、伸び側および縮み側のステージを個別に制御することにより、伸張と圧縮による振動をそれぞれ独立して制御でき、ドライビングダイナミクスが最適化されます。快適な走行とスポーティな走行とのドライビングの違いが、より明確に感じられます。新型 Audi Q3 の俊敏性は、洗練されたプログレッシブステアリングによるものです。このステアリングは過度なダイレクトさはなく、センターから非常に正確に作動します。ステアリングを切り終わるにつれて、ステアリング比は大幅に減少し、より高い取り回し性を実現します。ステアリング操作は、よりダイレクトにホイールへと伝わります。さらに、ステアリングホイールを通して応答性がより明確に体感できるようになり、路面からのフィードバックも向上します。摩擦の低減によって、より感触のよいステアリングフィールが得られます。

新型 Audi Q3 の Audi ドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステムでは、これまでの auto モードは balanced モードになります。名称が示すように、balanced モードは走行ダイナミクスと快適性の最適なバランスを表します。balanced モードは車両起動時に作動し、個々の要求に合わせて設定することもできます。「Offroad plus」(quattro 用) も MMI を通じてデフォルトモードとしてプリセットすることが可能です。

ドライバーアシスタンスシステム

Audi Q3 のドライバーアシスタンスでは、日常の運転生活をより楽に、より安全にする、幅広いシステムを採用しています。

市場投入時の標準装備には、距離表示付きパーキングシステムプラス、アダプティブクルーズコントロール機能追加に対応するクルーズコントロール (スピードリミッター含む)、エマージェンシーアシスト付きレーンデパーチャーワーニング、交通標識認識、ドライバーモニタリングによる注意力および疲労

警告、回避およびターンアシスト付きアクティブフロントアシスト、フロントクロストラフィックアシスト、フロントエマージェンシーブレーキアシストが含まれます。

運転快適性を高める特徴的な機能として、アダプティブドライビングアシストプラスがあります。これは縦方向および横方向のガイダンスをサポートし、レーンチェンジアシスタント機能によって補完されます。

このシステムは、加速、減速、速度維持、設定された車間距離の保持、および最高 210 km/h までの速度区間におけるレーンガイダンスを行います。また、高速道路では 90 km/h 以上の速度でアシスト付きレーンチェンジもサポートします。この機能は MMI を通じて作動し、後方レーダーのデータを使用してレーンチェンジが可能か、どの方向に可能かを、メータークラスターおよびヘッドアップディスプレイに白い矢印で示します。ウインカーをタップしてレーンチェンジを開始すると、システムがステアリング操作を積極的にサポートします。アダプティブドライビングアシストは、オンラインデータと連動することで、白線がない道路でも車両のレーン維持ができるため、高速道路以外のローカル道路や都市部のドライブにおいても快適性が高まります。アダプティブドライビングアシストにオンラインデータを活用できる期間は車両引き渡し後 3 年間で、その後は有料で利用期間を延長するオプションを選択可能です。

エマージェンシーアシストは、今回初めて、ドライバーが反応しなくなった場合に車両の操作を引き継ぐことが可能になりました。その場合、エマージェンシーアシストは自律的に Audi Q3 を路肩に移動させ、停止させます (Tech pro package との組み合わせ時のみ)。このようなケースでは、アシスタントは視覚的、聴覚的、およびブレーキのショックを伴う触覚的な警告を行い、ハザード警告灯を点灯させます。

さらに道路上での安全性を高めるために、インテリアカメラがドライバーの眠気や集中力欠如の兆候をモニターします。ドライバーが一定期間 Audi Q3 の警告に反応しない場合、警告音が鳴り、メーターパネル上に視覚表示が現れます。この状態のデータは保存されません。それでもドライバーが反応しなければ、Audi Q3 は自動的に路肩に寄せ、エマージェンシーサービスへ通報します。

学習型パーキング機能では、顧客は Audi Q3 に個別の駐車操作を覚えさせることができます。カーポートやガレージへのアクセスが困難な場合、Audi Q3 が一度学習すれば、それ以降は自動的に駐車を行い、ドライバーは見守るだけです。駐車スペースからの退出も同様です。新型 Audi Q3 は最大で 5 つの駐車操作、長さにして 50m の距離を記憶することができます。操作それぞれに名称を付けることができます。市街地で袋小路に入った際には、新しいリバースアシスタントが信頼できるサポートを提供します。Audi Q3 は 35 km/h 以下の速度で約 50 メートルの距離を記憶し、自律的に約 10 km/h の速度で後退します。

市街地においては、パーキングシステム付きパークアシストプラスが駐車時に役立ちます。超音波センサーが適切な縦列または前向き、後ろ向きの駐車スペースを検知すると、的確なステアリング操作でドライバーを支援します。パークアシストは、駐車スペースからの後退時にもサポートを提供し、マニュアルでの駐車操作中にオンすることも可能です。このアシストを有効にするには、ドライバーはディスプレイの指示に従って、適切にアクセルおよびブレーキ操作を行う必要があります。

4 つの広角サラウンドカメラは、車両の周囲全体をカバーして、より便利な操作のために様々なビューを提供します。ドライバーは、MMI ディスプレイで異なるビューを選択でき、駐車スペース内での車両の位置決めがより容易になります。

道路標識認識は、警告も表示します。例えば、優先道路、工事現場、横断歩道、動物横断、鉄道踏切の標識も認識します。

ジェールとインゴルシュタットが生産ネットワークを構築

Audi Q3 は、アウディのポートフォリオの中でも最も人気のあるモデルのひとつで、新世代の需要も同様に高くなるが見込まれます。そのため、ジェールでの生産に加え、アウディはインゴルシュタット

との統合生産ネットワークを構築しています。追加生産分のボディはジェールで製造し、その後ドイツで塗装し、組み立てます。

アウディ ハンガリーは2018年以降、ジェール工場で第2世代 Audi Q3 を SUV と Sportback のバリエーションで生産しています。数か月前、100万台目の車両が同社の組立ラインから出荷され、第3世代の量産が6月のワールドプレミア後に始まりました。アウディ ハンガリー監査役会会長 兼 AUDI AG 生産およびロジスティクス担当取締役 ガード ウォーカー (Gerd Walker) は、「ジェールでの100万台の生産は、Audi Q3 が世界中のお客様にいかにも人気があるかを印象的に示しています」と述べています。アウディ ハンガリー取締役会会長 ミハエル ブルメ (Michael Breme) は、「ジェールで Audi Q3 の生産が100万台に達したことは、私たちにとって大きな喜びです。AUDI AG およびお客様の信頼に感謝するとともに、何よりも日々プレミアム品質のアウディを生産している当社の素晴らしい従業員に感謝します」次のように述べています。

発売時期

新型 Audi Q3 の第3世代は、コンパクトセグメントにおいて新たな基準を設定します。車両は今年10月にドイツおよび欧州市場で発売となります。オーダーはすでに開始しています。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントにおいて最も成功している自動車・モーターサイクルメーカーの一つです。アウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティの4ブランドは12カ国・21カ所の生産拠点で製造を行っています。アウディとそのパートナーは世界100以上の市場に展開し、2024年、アウディ グループは約170万台のアウディ、10,643台のベントレー、10,687台のランボルギーニ、54,495台のドゥカティモーターサイクルを販売しました。2024年度の売上高は645億ユーロ、営業利益は39億ユーロを計上し、12月31日時点で88,000人以上の従業員が在籍、そのうち53,000人以上がドイツのAUDI AGに勤務しています。アウディ グループは、魅力的なブランドと多彩な新型モデルを展開しながら、持続可能で完全にネットワーク化された、プレミアムモビリティのプロバイダーへの道を体系的に進んでいます。
